



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）6月15日号 No. 1597

目次

■ 低成長からの脱却をめざすムルマンスク州	服部 倫卓	1
■ キーパーソン		11
モルドバでリャンカ新首相就任／11		
■ トピックス		12
双日と川重、ロシア向けガスタービン供給契約／12		
JBICが大手銀と連携し日ロ合弁事業に融資／12		
ジヤトコ・モスクワ駐在事務所の開所式／12		

低成長からの脱却をめざすムルマンスク州

ロシアNIS経済研究所 次長

服部 倫卓

はじめに

先日、ロシア北部のムルマンスク市を訪問し、現地調査を実施する機会があった。これまで当会の刊行物では、ムルマンスク州の港湾セクターについて断片的に言及したことがあった程度で、同州の経済について個別に詳しく取り上げたことはなかったかと思う。ムルマンスク州は非常にユニークな経済を抱えた地域であるし、潜在的な重要性は高いと言える。そこで今回の速報では、現地調査で得た見聞や、入手した資料などを活用しつつ、ムルマンスク州経済の概要と最新動向について紹介することとしたい。

なお、ムルマンスク州が潜在的に重要な理由として、同州沖合のバレンツ海におけるシュトックマン・ガス田の開発（現時点では無期延期という方向になっているが）、ムルマンスクを重要拠点とする北極海航路の利用拡大など、ロシアの国家戦略にかかわるプロジェクトが控えていることが挙げられる。ただ、これらはそれ自体で大きなテーマになるので、本稿では深く立ち入らないことにする。このうち、北極海航路については、辻久子「北極海航路の展望」『ロシアNIS調査月報』（2013年1月号）があるほか、近く本速報でもレポートを予定している。